

第3分野 支えあい助け合う安心のまち

基本方針1 結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します	年度	平成28年度
	責任部長	健康福祉部長
	責任課長	児童家庭課長
	責任課	児童家庭課
	関係課	企画課・社会福祉課・健康課・郡上市民病院・国保白鳥病院・商工課・学校教育課・社会教育課・消防課
【施策名】	【主管課】	【関係課】
① 結婚支援の推進	企画課	商工課・学校教育課・社会教育課・消防課
② 妊娠・出産期にかかる母子への支援	健康課	児童家庭課・郡上市民病院・国保白鳥病院
③ 子育て支援の充実	児童家庭課	社会福祉課・健康課・郡上市民病院・国保白鳥病院・学校教育課・社会教育課
④ 子育てと仕事の両立への支援	児童家庭課	企画課・商工課・社会教育課

■基本方針に関連する昨今の社会経済情勢及び関連データ	
◆全国・県・圏域等の状況及び関連データ ・全国的に非婚化・晩婚化が進行する中、県では婚活イベントの充実や、より効果的な結婚相談を実施できるよう総合的な支援体制を整備し、出会いから成婚までの継続した支援を行う事を目的に、結婚支援事業を実施している。 ・急速な少子化の進行、女性の職場進出に伴う子育てと仕事の両立、子育ての孤立感と負担感の増加、子ども子育て支援が質・量とともに不足、児童虐待の問題の深刻化など課題に対応するため、国では消費税増税分を活用して、幼児教育、保育、地域の子ども子育て支援を総合的に進めている。 ・県では、晩産化が進み第1子出産時の母の年齢が上昇していることに伴い特定不妊治療助成件数が増加しており、不妊に悩む人への支援や助成による経済的な負担の軽減を図っている。 また、県では、少子化の問題に地域で主体的に取り組む必要があるという認識に立ち、「安心して子どもを生み育てることができる岐阜県づくり条例」を制定し、社会全体で結婚から子育てまでを支える取り組みを進めている。 ・内閣府男女共同参画局では、男女ともに子育てをしながら働き続けられる雇用環境整備を進めている。	◆本市を取り巻く状況及び関連データ ・結婚に対する意識の変化により非婚化、晩婚化が進んでいる中、結婚を希望する人への出会いの場づくりや結婚相談の充実を進めている。 ・結婚後には妊娠・出産となっていくが、妊娠中の困りごとの解決や喫煙率を"0"にする取り組みを実施している。 ・少子化や核家族化が進み、身近に相談ができる人がいないなど、子育てに不安や負担を感じている人が多い中、親子交流の場、様々な保育サービス、子育て相談窓口や養育支援訪問の充実を図っている。 ・働きながら安心して産み育てることができるよう、多様なニーズに柔軟に対応できる子育て環境づくり、父親の育児参加を推奨する取り組みを進めている。 ・共働き世帯や核家族世帯、ひとり親世帯の増加する中、子育てにかかる経済的な負担の軽減、子育て環境や子育て支援の充実を進めている。 ・当市の合計特殊出生率は、平成25年が2.24、平成26年が1.88と高水準であるものの、20歳から39歳の若年女性人口が減少している。

■基本方針に従い施策を進める上での重要課題	
本市において、結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実するためには、次の課題を解決していく必要がある。 ・結婚に対する非婚化、晩婚化 ・生涯を通じた健康の基礎となる妊娠期・乳幼児期の健康づくりの支援 ・子育ての不安や悩みの負担を軽減する支援や支援制度の充実 ・子育て世帯に対する経済的支援、子育て環境、子育て支援の充実 ・働きながら安心して子どもを生み育てることができる子育て環境の充実 ・20歳から39歳の若年女性人口が減少による少子化の進行	

■目指す姿及び指標						
目指す姿(目標)						
結婚を希望する人が結婚でき、子どもを持ちたい人が安心して子どもを産み育てることができるような、官民の支援体制が整っています						
達成状況(各年度の最新値)						
現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
6	12					6
28(H27)	16					28
0.3(H27)	2.5					0.0
46.1	—					41.0
15,711	15,986					15,900
23.8	28.5					30.0
4(H27)	4					9

■関連する市民アンケート調査の状況						
現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)

■基本方針及び構成施策に関連する事務事業の状況について

【関連する事務事業の成果と課題】

①結婚支援の推進

【成果】婚活支援について、平成28年度は市内での婚活イベント数が9回と多く開催でき、成婚数も12組と前年を大幅に上回る結果となった。

【課題】婚活イベントの増加により、時期などが重なり、参加者不足で開催できなかった婚活イベントが3回あったため、イベント間の調整が必要であった。

②妊娠・出産期にかかる母子への支援

【成果】妊婦や新生児等が必要な検診・検査については、費用を公費で賄うことにより、安心して妊娠・出産ができる環境を整えることができた。

【課題】不妊治療費助成事業の利用者数は減少した。不妊に悩む夫婦の実態把握が困難なので、制度の周知が必要である。また、妊婦の喫煙率が上昇した。喫煙者7名のうち3名は養育上も要支援者であり、2名は養育支援訪問事業での支援も行った。妊娠期からの禁煙支援と、喫煙者の生活背景も踏まえて丁寧な支援を行っていく必要がある。

③子育て支援の充実

【成果】地域子育て支援拠点事業により、子育て支援センター等の子育て交流の場を利用する人が増加し、平成28年度は15,986人と現状値を上回った。また、子育てについて相談できる人が身近にいない人の相談相手となることができた。0歳児親子教室「まめっこくらぶ」など、市が展開する事業を通じて、子育てに関する不安や負担の軽減を図ることができた。

【課題】H28年度に子育て支援センターの相談窓口を利用した総数は406件で、今後も子育てに不安や負担を感じる人の相談窓口となっていくことが必要であり、相談をとおして不安や負担が軽減された人が、安心して子育てができるように、地域で子育て家庭を支えるサポーターやボランティアの担い手を増やしていく必要がある。

④子育てと仕事の両立への支援

【成果】共働き世帯やひとり親世帯の仕事と子育ての両立対策として、放課後児童健全育成事業を推進したことで放課後児童クラブへの登録者割合が増加し、子育て環境と支援の充実を図ることができた。

【課題】岐阜県が審査・認定する「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」が市内において増加する方策について、商工施策とも連携しながら必要な事務事業を検討していく必要がある。

【決算データ及び構成事務事業の実施状況】

施策名	H27決算額(千円)	H28決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(H28)					小計
			a	b	c	d	-	
① 結婚支援の推進		4,026	2	0	2	0	0	4
② 妊娠・出産期にかかる母子への支援		30,464	0	5	0	0	0	5
③ 子育て支援の充実		1,270,397	2	23	1	0	8	34
④ 子育てと仕事の両立への支援		32,085	2	2	0	0	0	4
小計	0	1,336,972	6	30	3	0	8	47

a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業

b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業

c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業

d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■総合評価(基本方針に基づき目指す姿がどのような状況にあるか)

総合評価

B 目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

【成果指標を踏まえた評価及びその理由】

施策①: 結婚支援の推進として、目標値を大きく上回る成婚数となり、事業の効果があつたものとする。

施策②: 妊娠・出産期にかかる母子への支援に係る成果指標において、現状値を下回る結果となったため、妊娠・乳幼児期の健康づくりと、要支援者への重点的な取り組みが必要である。

施策③: 子育て支援の充実として、子育て支援の場を利用する人の数が目標値を上回る値となり、親子交流をとおして子育ての不安や負担の軽減が図れたと考える。

施策④: 子育てと仕事の両立への支援に係る成果指標において、放課後児童クラブを利用する割合が増加したことは、事業が両立の一助になったと考えられる。また岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業として市内認定企業が増加していないことは、子育てと仕事の両立に理解があり支援に取り組む企業が増えていることの表れであるため、認定への働きかけが必要である。

【アンケート等市民の意見を踏まえた評価及びその理由】

施策③: 0歳児親子教室「まめっこくらぶ」において参加者にアンケートをとったところ、124名の回答者中97名が「教室に参加をして子育てが楽しくなった」と回答した。事業参加により、78.2%と多くの母親が子育てに楽しさを感じることができ、不安や負担の軽減が図れた。このことは、一定の評価を得られたということであるが、調査対象が限られているため、今後調査対象を拡大して評価の参考としていく必要がある。

■今後の展開

【今後の展開】

施策①: 結婚支援については、平成29年度より、地域の婚活ムードを盛り上げるため「婚活応援団」を設置し、結婚相談員と協力して更なる支援を行っていく。

施策②: 不妊に悩む夫婦の経済的負担が軽減されるよう、制度の周知に努め、今後も継続実施に取り組んでいく。

施策②: 母子手帳発行・妊婦相談から3歳児健診までの母子保健事業および郡上市民病院産婦人科との連携により、妊婦及びその子どもの健康を維持することができるよう、妊産婦およびパートナーへの喫煙防止に取り組んでいく。

施策③: 子育ての不安や負担を軽減し、「子供をもうけても安心」という環境をつくり、出生数の維持・増加に繋げる。

施策④: すべての小学校校区に放課後児童クラブがないため、小学校校区毎の放課後児童クラブ創設を検討していく。

施策④: 「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」が市内において増加するのに必要な事務事業を検討していく。

【具体的な手法又は事務事業名等】

- ・「郡上婚活応援団」設置事業…地域のおせっかいおばさんや、事業に賛同していただける企業などに応援団に登録してもらい、婚活イベントのPRや、マリアージュ郡上への会員登録へ独身者を後押ししていただく(施策①)
- ・不妊治療費助成事業を広報誌にて周知する(施策②)
- ・母子手帳交付時や赤ちゃん訪問時・乳幼児健診時に喫煙状況を把握し、喫煙に関する情報提供をしながら禁煙支援を行い、妊婦およびその子どもの健康を維持することができるよう支援していく(施策②)
- ・年間を通じて、地域子育て支援拠点事業、ファミリー・サポートセンター事業、放課後児童健全育成事業、【総合戦略】赤ちゃんの駅整備事業等の子育てに関する事業を実施し、子育ての不安や負担を軽減する(施策③④)

■関連する個別計画の有無

有

個別計画の名称

第2次郡上市健康福祉推進計画、郡上市子ども子育て支援事業計画